

古居みずえ監督作品の上映会です。



### 避難の実像伝えるドキュメンタリー映画

12月17日、交流センター「ふれ愛館」で、飯館村婦人会が、映画『飯館村の母ちゃんたち 土とともに』の上映会を開きました。震災直後から飯館村取材する古居みずえ監督が、故・菅野榮子さん(佐須)と菅野芳子さん(佐須)の避難と苦悩、支え合う友情を丹念に記録した映画です。観客は映画の中の2人と共に泣き笑い、原発避難の苦しみを背負い歩んだ道のりを、改めて心に刻んでいました。

会場スピーチする古居監督



上映後の会場で観客の質問に答える本田先生。

### ガザ地区で取材された映画を上映

12月3日、交流センター「ふれ愛館」で、映画『ぼくたちは見た』が上映されました。パレスチナ・ガザ地区を取材した古居みずえ監督のドキュメンタリー映画で、平成23年に発表された作品です。上映は、監督と旧知の間柄である「いいたてクリニック」の本田徹先生(伊丹沢)が企画し、NPO法人ふくしま再生の会(田尾陽一代表/佐須)などが協力しました。映画を通して紛争の現実を目の当たりにした観客は、感じたことを語り合い、現地の人々に思いを寄せました。



### 被災地の前進を祈る312枚の写経

12月、村に般若心経の写経312枚が届きました。贈ってくださったのは福島県出身の門馬茂さんです。被災地に心を寄せ、「何か自分にできることは」と写経を始めて10年。避難地域の市町村それぞれに312枚を書き上げました。「3.11」からの前進を意味する「312」枚に、復興への祈りが込められています。

長い歳月をかけ1枚1枚をしたため、飯館村へ想いを届けてくださり、ありがとうございます。



※神代さん撮影の動画から。

### 特別天然記念物のトキが飛来

11月25日、特別天然記念物のトキの飛来が、村内で初めて確認されました。目撃されたのは、いいたて村の道の駅までい館の周辺で、道の駅の副駅長・神代憲男さん(大久保・外内)がスマートフォンで撮影。環境省佐渡自然保護官事務所により、トキであることが確認されました。トキはその後1週間ほど同じエリアに現れ、水田で餌をついばむ様子が目撃されました。村の環境を気に入ってくれるといいですね。トキを見かけた際は、遠くからそっと見守りましょう。



所在地:飯館村飯樋字大火115-3

### くまさんが「つどい茶屋」をオープン

音楽イベントの企画・出演などを通して村の音楽シーンを盛り上げる“くまさん”こと佐藤祐喜さん(上飯樋)が、自宅の一部を改装し、音楽スタジオに続いて『つどい茶屋 JAZZ喫茶くま』をオープンしました。当面は午前9時から午後6時まで、日曜定休(臨時休業あり)で営業。1月1日から14日には「開店記念週間」(12月31日に前夜祭)を予定しています。また、周囲の要望に応じて、ついにドラム教室をスタートしたそうです。詳しくは、くまさん ☎090-1513-1917まで。



### エゴマラーメン膳

月に1回「までいな家」で、「飯館までい文化事業団」が福島大学大黒ゼミと共同開催している『村民食堂』。そのスピンオフ企画が11月25日に実施され、郡山女子大学の学生が考案した『エゴマラーメン膳』が販売されました。エゴマの研究を行う同大学の郡司尚子准教授やメニューを考案した学生達が、直接調理や接客を担当。開店前に「いいたて結い農園」のエゴマ生産者が招かれ交流した他、多くの人々が来店し、膳に並んだ多彩なエゴマ料理を楽しみました。



### 芸能発表祭で仮装盆踊りを披露

11月22日、「郡山ユラックス熱海」で『第27回福島県高齢者芸能発表祭』が開催されました。村からは回り番で旧石橋村エリアからの出場。二枚橋・須萱行政区の『20寿会』が、相馬盆踊りを仮装バージョンで披露し、会場を大いに盛り上げました。お見事!



優勝  
男子ダブルス 須長哲哉・木村竜一(郡山市)  
女子ダブルス 横田理恵・酒井美穂(郡山市/亍理町)  
混合ダブルス 梅原智也・横田理恵(郡山市)

### 「バドミントン交流会」10周年記念大会

『第10回いいたてバドミントン交流会』が、11月26日、「いいたて希望の里学園」体育館で開催されました。「いいたてスポーツクラブ」の主催、「シャトルフレンズ」の共催。交流人口の拡大や賑わいづくりを目的に、毎年開催を続けてきました。10周年の記念大会には、村内外の約45人が参加。熱く楽しく、トーナメント戦で優勝を競いました。運営を担う大澤和巳さん(上飯樋)は「今後も村民の皆さんとバドミントンを通して交流を深めたい」と節目を心に刻んでいました。